

新座市のごみの現状（令和3年度版）

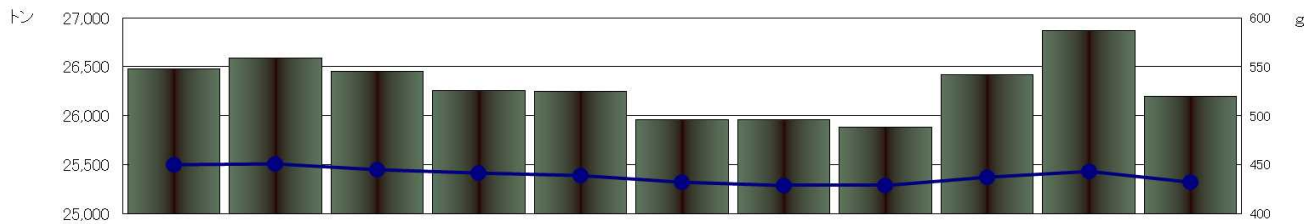
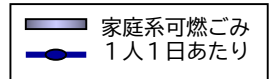
新座市は、全国一ごみの少ないまちを目指し、5種15分別など市民の皆様の協力をいただきながら家庭ごみの減量を進めています。

家庭系可燃ごみの推移を見ますと、平成24年度から平成30年度までは減少傾向にありましたが、令和元年度以降は新型コロナウイルス感染拡大防止のため自宅での滞在時間が多くなった影響からか大幅に増加に転じています。

現在、家庭からは、市民1人1日当たり約432グラムの可燃ごみが出され、県下でも少ない量ではありますが、引き続き生ごみの水切りの徹底等、市民の皆様に御協力をいただきながら可燃ごみの減量を進めていきます。

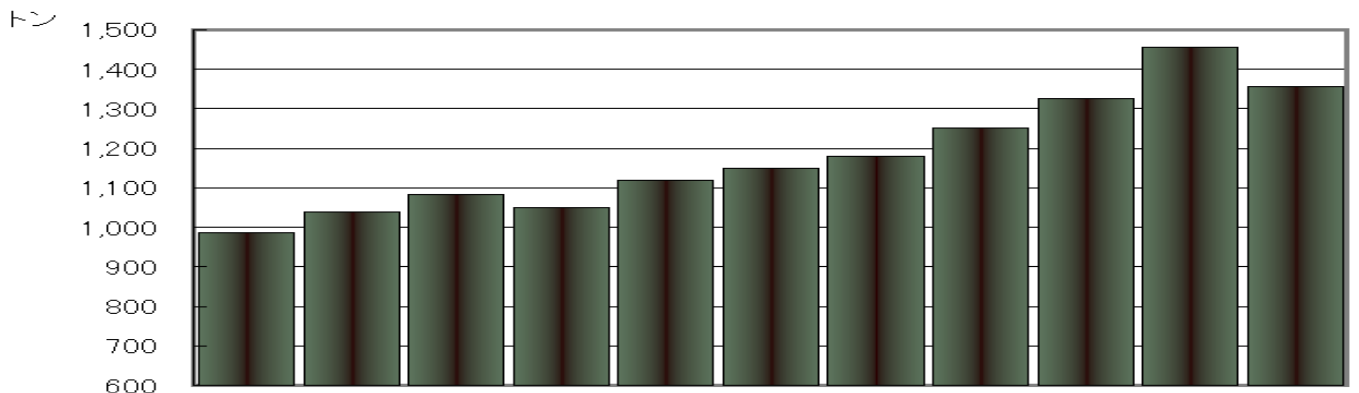
一方、粗大ごみの推移を見ますと、平成22年度以降増加傾向にあります。そのため、市民の皆さんの3R（リデュース・リユース・リサイクル）の意識を更に高めていくよう努めていきます。

家庭系可燃ごみ排出量の推移



※人口は各年10月1日現在

粗大ごみ排出量の推移



年度	平成23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
粗大ごみ(量)	985	1,040	1,084	1,051	1,120	1,150	1,179	1,250	1,325	1,455	1,356
対前年度比		5.58	4.23	△ 3.04	6.57	2.68	2.52	6.02	6.00	9.81	△ 6.80

ごみを減らすために実施している事業の状況

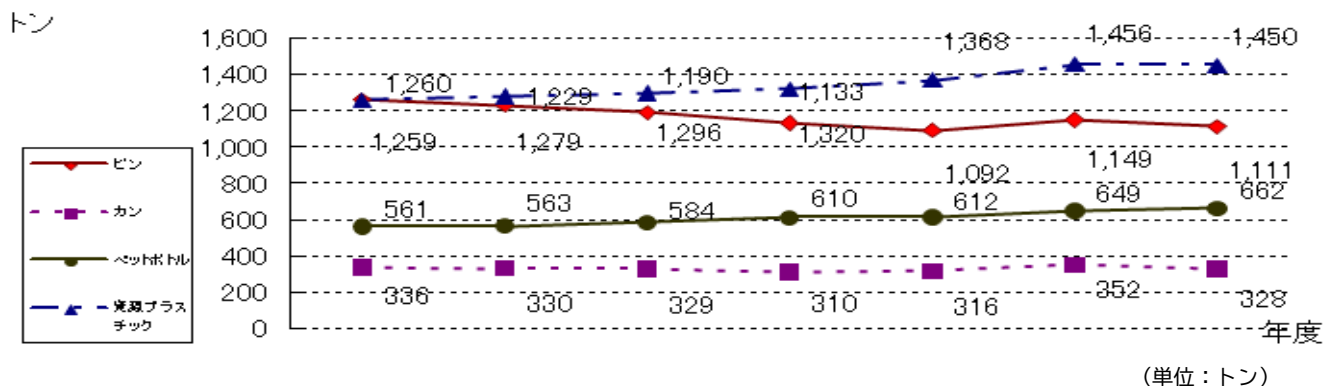
① ビン、カン、ペットボトル、資源プラスチック収集事業

容器包装リサイクル法の施行に伴い、平成9年6月からビン、カン、ペットボトルを、平成13年11月からは資源プラスチックの分別収集を行っています。

この分別収集により、ごみから資源という流れが定着し、安定した収集実績となっています。

また、平成25年8月から、アルミ蒸着フィルムなどを資源プラスチックとして拡大し、更なる再資源化を推進しています。

ビン・カン・ペットボトル・資源プラスチック収集量の推移



年	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ビン	1,260	1,229	1,190	1,133	1,092	1,149	1,111
カン	336	330	329	310	316	352	328
ペットボトル	561	563	584	610	612	649	662
資源プラスチック	1,259	1,279	1,296	1,320	1,368	1,456	1,450

② 廃食用油のリサイクル

本事業は、平成6年5月から、家庭から出る廃食用油を公民館及びマンションなど市内20か所で回収を行う、リサイクル事業です。

平成10年10月から市が補助を行い、(公社)新座市シルバー人材センターがリサイクルせっけんの製造・販売をしてきましたが、大和田二・三丁目地区土地区画整理事業に伴い、平成29年8月にせっけんを製造していた資源保管センターを解体したため、平成31年1月をもって販売事業を終了しました。なお、現在は専門業者により工業用せっけんなどの原材料に加工されています。

令和3年度からマンションでの回収は管理体制の軽減のため廃止、保育園は事業系リサイクルとしての回収しております。

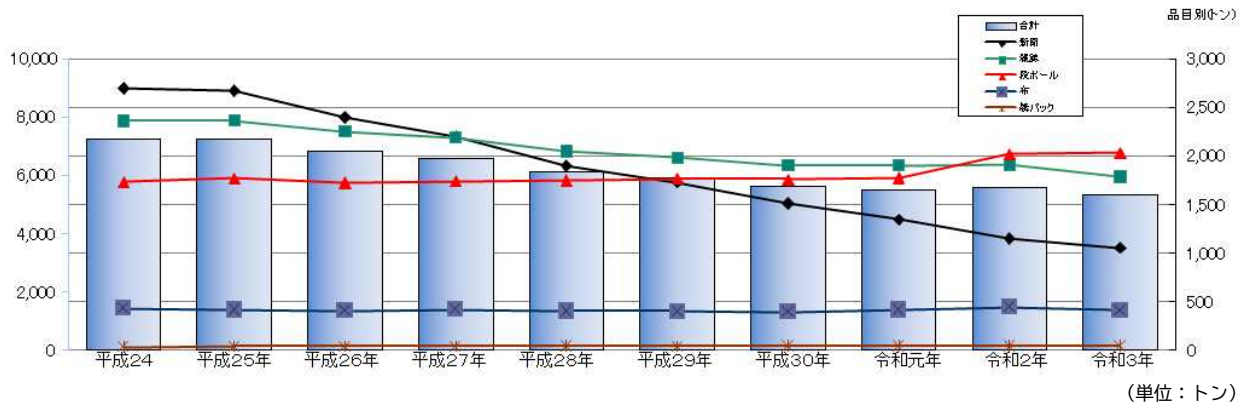
年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
回収量(%)	5,211	5,375	4,635	4,677	3,990	3,535	3,719	2,539
販売数量	300g容器(個)	1,043	1,011	1,258	998	674		
	200g袋(袋)	0	2	0	0	0		
	1kg袋(袋)	661	591	504	565	403		
	固形(個)	707	585	601	553	141		

③ 集団資源回収事業

家庭から排出される資源物(新聞・雑誌・段ボール・布類・牛乳パック)を、登録団体が種類ごとに分別して排出し、指定協力事業者が回収しています。登録団体には市から奨励金が交付されておりましたが、財政非常事態宣言に伴う事業の見直しにより令和3年度は奨励金を休止しました。(奨励金単価は1kg当たり4円)

昭和63年6月から、小・中学校の保護者会やサークル活動団体などにより実施されていましたが、徐々に町内会を中心とした集団資源回収事業が進展し、平成17年11月からは全町内会にて事業が実施されるようになり、紙・布類の資源物が行政回収から集団資源回収に完全移行されました。

資源物回収量の推移



年度	平成24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
新聞	2,697	2,674	2,400	2,198	1,898	1,728	1,514	1,348	1,152	1,056
雑誌	2,362	2,364	2,254	2,191	2,048	1,983	1,902	1,905	1,913	1,788
段ボール	1,732	1,769	1,724	1,740	1,751	1,768	1,757	1,776	2,020	2,031
布	430	416	406	418	400	398	395	415	444	412
紙パック	33	35	36	37	38	37	39	39	39	38
合計	7,254	7,258	6,820	6,584	6,135	5,914	5,607	5,483	5,568	5,325
団体数	160(61)	160(61)	157(61)	159(61)	157(61)	158(61)	155(61)	146(61)	142(61)	136(60)

合計136団体(うち町内会60団体)

④ 小型家電のリサイクル

令和元年8月に、リネットジャパンリサイクル株式会社と「連携と協力に関する協定」を締結しました。

同社は、小型家電リサイクル法に基づき国の認定を受けた事業者で、国内で唯一宅配便を活用し、不要なパソコンや小型家電を自宅まで回収に伺うサービスを実施しています。

市民の皆さんの利便性が向上することに加え、「都市鉱山」ともいわれるレアメタル等の再資源化や粗大ごみ等として排出されていた小型家電を直接リサイクルすることになり、ごみの減量化につながります。

小型家電の回収量 (単位: kg)

年度	令和元年度	2年度	3年度
パソコン	2,732	6,614	7,098
携帯電話	27	76	66
その他小型家電	2,714	5,598	4,680



⑤ 公共施設拠点回収事業

○充電式電池

平成13年11月から、販売店等における回収とあわせて、市役所・公民館・老人福祉センター等の公共施設に回収箱を設置し、拠点回収を行っています。一般社団法人JBR Cに引き渡し、リサイクルが図られています。

○インクカートリッジ

平成23年4月から、市役所・公民館等の公共施設に回収箱を設置し、拠点回収を行っています。プリンターメーカーへ引き渡し、リサイクルされています。

○アルミ付き紙パック

平成26年4月から、市役所・公民館等の公共施設に回収箱を設置し、拠点回収を行っています。製紙メーカーへ引き渡し、紙原料としてリサイクルされています。

○携帯電話・スマートフォン（「都市鉱山をつくる！みんなのメダルプロジェクト」への参加）

平成29年7月から平成31年3月まで、市役所・公民館等の公共施設に回収箱を設置し、拠点回収を行いました。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の入賞メダルに活用されます。

回収量：1,476台、172.8kg

充電式電池の回収量の推移（単位：kg）

年度	平成 24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
充電電池回収量	6	13	21	20	29	64	55	102	150	209

インクカートリッジの回収量の推移（単位：kg）

年度	平成 24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
インクカートリッジ	72	88	49	137	75	118	98	104	135	147

アルミ付き紙パックの回収量の推移（単位：kg）

年度	平成 26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
アルミ付き紙パック	212	290	344	305	354	400	458	560

⑥ 参加型幼児向けごみ減量講座

生ごみの減量化を推進する取組として、平成28年1月から、保育園の年長児を対象に、食べものを作ってくれた人への感謝や資源の大切さを忘れない心を育み、食べ残しをなくして食品ロスを減らすための参加型の環境教育を実施しています。なお、令和2・3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しています。

年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
公立保育園	2	6	6	6	6
法人保育園	0	7	6	7	9
合計	0	13	12	13	15

講座実施回数
(単位：園)



参考：休止・廃止となった事業

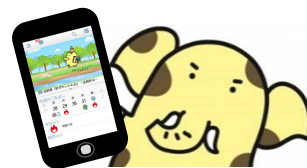
⑦ ごみ分別アプリ

※休止

平成28年4月から、スマートフォンごみ分別アプリの無料配信を開始し、お住まいの地域に合わせて、ごみの種類ごとの収集日をお知らせする機能や、品目ごとに簡単にごみの分別を検索できる「ごみ分別辞典」機能など、ごみに関する様々な情報を提供していましたが、財政非常事態宣言に伴う事業の見直しにより令和3年度は休止しています。

ダウンロード数 (単位：件)

年度	平成28年度 (累計)	平成29年度 (累計)	平成30年度 (累計)	令和元年度 (累計)	令和2年度 (累計)
日本語版	3,444	5,944	8,557	12,002	17,690
外国語版	125	212	292	356	424
合計	3,569	6,156	8,849	12,358	18,114



⑧ ごみ減量・再資源化協力店制度

※廃止

市民の皆さんや事業所の方々と一体となって「環境にやさしい生活・ごみをなるべく出さない暮らし」を実現するために、平成6年4月から、ごみ減量・再資源化協力店として認定した制度です。

この制度では、事業所の方々にエコマーク商品の販売や簡易包装などに取り組んでいただくとともに、市民の皆さんにはエコマーク商品の購入や買い物袋の持参などをお願いしました。

一定の成果を取めたことから、平成31年3月末をもって本制度を廃止しました。

協力認定事業所数 25事業所 (平成31年3月末)

⑨ “見直そう・ごみ半減” 推進新座市民会議との協力

※廃止

「ごみは資源である」を合言葉に、市長を会長に市民、各種団体や事業者の代表の皆さんで構成している“見直そう・ごみ半減”推進新座市民会議では、ごみの減量化及び再資源化の促進を図るための活動をし、リサイクルマーケットやごみ処理施設見学会、ごみ減量啓発ポスター・ごみ発生抑制標語展などの事業を行いました。

平成2年の設立当初から約25%を超える減量となり、会議の目的は十分達成されたことから、令和元年度をもって解散しました。

令和元年度実施した主な事業	11月	第27回秋のリサイクルマーケット	1月	ごみ処理施設見学会
	12月	ごみ減量啓発ポスター・ごみ発生抑制標語展	3月	処理困難物有料受入れ

⑩ 生ごみ処理容器購入費補助金

※廃止

可燃ごみ(生ごみ)の減量化及び堆肥化を推進し循環型社会を促進させることを目的として、家庭から出る生ごみを自家処理する生ごみ処理容器の購入者に対して、購入費の一部を助成していましたが、令和2年3月末をもって廃止しました。

※令和元年度実績...12件(78,200円)

生ごみ処理容器の種類	補助金額
電動式	購入金額の1/3 (1万円限度)
電動式以外(コンポスト・生ごみカラット・EM容器等)	購入金額の1/2 (3千円限度)

統計資料

ごみ・リサイクル資源の排出・回収状況

(単位：トン)

年 度		平成 29年度	令和 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和3年度				
						対前年度比較				
						量	割合(%)			
家庭系	ごみ	可燃ごみ	25,957	25,884	26,422	26,871	26,196	△ 675	△ 2.51	
		粗大ごみ	1,179	1,250	1,325	1,455	1,356	△ 99	△ 6.80	
		不燃ごみ	1,190	1,179	1,165	1,323	1,152	△ 172	△ 13.00	
		有害ごみ	52	50	51	54	44	△ 10	△ 18.52	
		合 計	28,378	28,363	28,963	29,703	28,747	△ 956	△ 3.22	
	リサイクル 資源	市回収	ビン	1,190	1,133	1,092	1,149	1,111	△ 38	△ 3.31
			カン	329	310	316	352	328	△ 24	△ 6.82
			ペットボ トル	584	610	612	649	662	13	2.00
			資源プラ スチック	1,296	1,320	1,368	1,456	1,450	△ 6	△ 0.41
			小 計	3,399	3,373	3,388	3,606	3,551	△ 55	△ 1.53
		集団 資源 回収	紙・布類	5,877	5,568	5,444	5,528	5,287	△ 241	△ 4.36
			紙パッ ク	37	39	39	39	38	△ 1	△ 2.56
			カ ン	207	207	208	222	223	1	0.45
			小 計	6,121	5,814	5,691	5,789	5,548	△ 241	△ 4.16
合 計	9,520	9,187	9,079	9,395	9,099	△ 296	△ 3.15			
総 計	37,898	37,550	38,042	39,098	37,846	△ 1,252	△ 3.20			
市民1人1日当たり(g) ※人口は、各年10月1日現在		627	622	629	644	624	△ 20	△ 3.11		
事業系	ごみ	可燃ごみ	8,774	9,008	9,430	8,712	8,991	279	3.20	
		不燃ごみ	1	1	1	1	1	0	0.00	
		合 計	8,775	9,009	9,431	8,713	8,992	279	3.20	
	リサイクル 資源	ビン	10	8	8	7	4	△ 3	△ 42.86	
		カン	1	1	1	1	1	0	0.00	
		ペットボトル	1	1	1	1	1	0	0.00	
		合 計	12	10	10	9	6	△ 3	△ 33.33	
総 計	8,787	9,019	9,441	8,722	8,998	276	3.16			
総 合 計	46,685	46,569	47,483	47,820	46,844	△ 976	△ 2.04			
廃食用油 (㍑)	4,677	3,390	3,535	3,719	2,539	△ 1,180	△ 31.73			

注) 集団資源回収で回収したカン類については、以前は市回収のカン類に合算していましたが平成20年度から集団資源回収に表示することになりました。

- ・市回収の紙パック(拠点回収)については、小中学校において回収されたものです。
- ・平成17年11月から、紙類の回収は全て集団資源回収事業に移行しました。

小・中学校の牛乳パック回収状況

(単位：トン)

年度	平成 29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
牛乳パック	21	25	21	21	24

1 ごみになるものを減らしましょう

- 不用な過剰包装は断りましょう。
- 買い物をする際は、エコバッグを持参しましょう。
- 買い換えるときは、お店に引き取ってもらいましょう。
- 長く使えるものを選んだり、一時しか使わないものは、本当に必要かを考えましょう。

2 再利用を考えましょう

- 壊れたものは、修理を考えましょう。
- 不要のものでも、ご近所・友人同士で譲り合えないか考えましょう。
- リサイクル（フリー）マーケットに参加してみましょう。

3 リサイクル（分別）を促進しましょう

- 充電電池、プリンターのインク、アルミ付き紙パック、廃食油は公民館などの拠点回収を利用しましょう。
- 販売店のトレー回収などをなるべく利用しましょう。

4 リサイクル製品を使いましょう

- 回収された資源から再利用した商品を使うようにしましょう。トイレットペーパーやティッシュペーパーなどは古紙を含む商品を選びましょう。

5 ごみを出さない工夫をしましょう

- 冷蔵庫の在庫を確認し、食材を使いきるようにしましょう。
- 生ごみは、生ごみ処理容器を利用するなどして減量できないか考えましょう。
- 生ごみはよく水切りをしましょう。

6 ごみを適正に処理するために

- ごみを正しく分別し、決められた日時に指定の場所へ排出しましょう。
- 空きビン・空きカン・ペットボトルは、水洗いしてから排出しましょう。
- ペットボトルはラベルとふたを外し、本体はペットボトルへ、ラベル等は資源プラスチックへ排出しましょう。
- 資源プラスチックは、汚れを取ってから排出しましょう。